

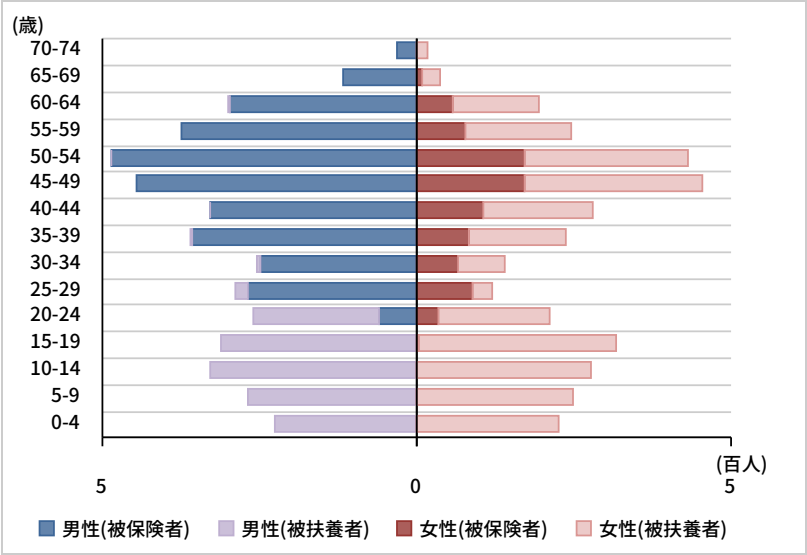
STEP 1 - 1 基本情報

組合コード	62321		
組合名称	栗田健康保険組合		
形態	単一		
業種	機械器具製造業		
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	3,905名 男性78% (平均年齢45.9歳) * 女性22% (平均年齢44歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険 者数	0名	-名	-名
加入者数	7,842名	-名	-名
適用事業所数	15カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点 数	276カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	90%o	-%o	-%o

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	1	-	-	-	-
	保健師等	1	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	24	-	-	-	-
	保健師等	4	1	-	-	-	-
		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)					
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷ 特定健康診査対象者数)		全体	3,124 / 3,625 = 86.2 %				
		被保険者	2,442 / 2,561 = 95.4 %				
		被扶養者	682 / 1,064 = 64.1 %				
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷ 特定保健指導対象者数)		全体	289 / 596 = 48.5 %				
		被保険者	285 / 545 = 52.3 %				
		被扶養者	4 / 51 = 7.8 %				

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	7,885	2,019	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	12,137	3,108	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	6,436	1,648	-	-	-	-
	疾病予防費	82,771	21,196	-	-	-	-
	体育奨励費	0	0	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	1	0	-	-	-	-
	小計 …a	109,230	27,972	0	-	0	-
	経常支出合計 …b	2,403,152	615,404	-	-	-	-
	a/b×100 (%)	4.55		-		-	

令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	0人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	59人	25～29	269人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	250人	35～39	356人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	330人	45～49	447人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	486人	55～59	373人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	296人	65～69	118人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	31人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	2人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	33人	25～29	88人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	66人	35～39	82人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	106人	45～49	170人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	170人	55～59	78人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	56人	65～69	8人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	1人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	225人	5～9	270人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	328人	15～19	311人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	200人	25～29	20人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	7人	35～39	3人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	1人	45～49	0人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1人	55～59	0人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	2人	65～69	0人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	226人	5～9	248人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	276人	15～19	314人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	177人	25～29	30人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	74人	35～39	155人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	174人	45～49	284人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	261人	55～59	169人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	136人	65～69	29人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	18人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

被保険者の男女比は4：1で男性社員がかなり多い人員構成である。
経常支出に占める保健事業費の割合は4.5%ほどである。

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴	
・会社の事業所単位にコラボヘルスの推進役として、健康づくり推進者を設置して特定保健指導などを実施	
・健保は予防事業、会社は疾病管理に軸を置いたすみ分けができています	
・健康を啓発する健康教室・健康イベントを会社単位で健保と共同して実施	

事業の一覧

職場環境の整備	
予算措置なし	コラボヘルスの仕組の有効活用
加入者への意識づけ	
その他	機関誌の発行（ホームページ、掲示板を含む）
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健診（被保険者）
特定健康診査事業	特定健診（被扶養者・任意継続被保険者）
特定保健指導事業	特定保健指導
特定保健指導事業	特定保健指導・生活習慣改善指導
疾病予防	生活習慣病重症化予防
疾病予防	医療費通知、ジェネリック医薬品の利用促進
疾病予防	婦人科検診
疾病予防	健康教室の開催
疾病予防	健診・レセプトデータの活用
事業主の取組	
1	1．法定 定期健康診断 2．法定外 生活習慣病検診、がん検診
2	ストレスチェック
3	運動支援 健診・検診受診支援
4	保健指導

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2)評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備												
予算措置なし	1	コラボヘルスの仕組の有効活用	【目的】事業主が課題を発見し取り組めるよう情報発信する。【概要】①健康管理委員会：理事会の諮問機関。開催頻度（従来1回／年）を増やし、デジタル計画の進捗評価・見直しについて審議する場とする。②安全衛生委員会：グループ安全衛生委員会および事業主ごとの安全衛生委員会での情報提供・説明実施。③留意点：事業主側と健保側の、役割や情報管理基準の違いを明確化・共通認識することが前提。	全て	男女	0～74	被保険者	-	【ポイント】①健康管理委員会等を通じた事業所医療スタッフや担当者等関係者との情報・意見交換、②安全衛生委員会での情報提供	健保の諸会議での意思疎通重視。	事業所や拠点により、連携のいかに偏りがある。	5
加入者への意識づけ												
その他	2	機関誌の発行（ホームページ、掲示板を含む）	【目的】健保活動の理解促進(健保そのものの存在感を示す) 【概要】機関誌（保健事業案内、法改正、健康啓発）を発行。他に、ホームページ、グループ掲示板。	全て	男女	0～74	加入者全員	2,608	・クリちゃん通信（年2回）の被保険者自宅送付 ・ホームページでお知らせ、啓発など情報提供実施	・タイムリーで健康増進に役立つ情報提供 ・健康クイズや読者投稿募集など双方向性のある情報発信を実施	・機関誌を中心とした情報発信方法の見直し（読んでもらう工夫） ・更なる内容の工夫・充実による健康意識の向上	5
個別の事業												
特定健康診査事業	3	特定健診（被保険者）	【目的】特定健診の受診率向上、及び健康状態の推移確認 【概要】事業主の定期健診時に共同実施（特定健診結果は、事業主から入手）	全て	男女	40～74	被保険者	-	【R4実績】 受診者数3,463名 受診率95.5%	主要事業所の定期健診ネットワーク化	・事業主協力による未受診者に関する要因把握 ・在宅勤務定着により、社員の健康診断受診状況把握が困難	4
	3	特定健診（被扶養者・任意継続被保険者）	【目的】特定健診の受診率向上、及び健康状態の推移確認 【概要】被扶養者健診受診時に実施	全て	男女	20～74	被扶養者	7,885,000	【R4実績】 受診者数 989名 受診率 52.5%	・特定健診項目に婦人科検診項目付加による受診機会の提供 ・未受診者に対する徹底した受診勧奨	・被保険者経由での被扶養者への受診状況把握・受診勧奨の実施 ・かかりつけ医での受診の場合の費用補助	2
特定保健指導事業	4	特定保健指導	【目的】生活習慣病リスク保有者の減少 【概要】保健師等の指導のもと個別目標を設定し、生活習慣病予防プログラムを受診	全て	男女	40～74	基準該当者	12,137	【R4実績】 対象者596名 参加者289名 （動機付け支援109名） （積極的支援 179名） 実施率:48.5%	・健康づくり推進者と連携 ・外部の専門業者活用 ・意欲に応じた指導(委託先を自身で選択可能) ・見易くわかり易い案内通知	・定期健診の上期実施 ・定量的な効果把握 ・リピーターへの効果的な対応 ・安全衛生委員会活動での展開	2
	4	特定保健指導・生活習慣改善指導	・医療スタッフのいない事業所の「要治療者」の健康状態を悪化させない。	全て	男女	18～74	被保険者	-	【R4実績】 受診率55.9%（回答数33人/案内数590人）…全員が受診済 （経過観察…26人／治療（服薬）開始…3人／問題なし…4人）	事業主医療スタッフや担当者等関係者との情報交換・意思疎通。	①保健指導実施後のフォロー、②定量的な効果把握。	2
疾病予防	4	生活習慣病重症化予防	糖尿病患者等に適切な治療を受診させることにより、重症化及び合併症を予防することにより重症化させない。	全て	男女	20～74	被保険者	-	【R4実績】 2022年10月～2023年3月までに、主治医相談の案内26人。 回答数17人（回答率65.4%）	事業主医療スタッフや担当者等関係者との情報交換・意思疎通。	①保健指導実施後のフォロー、②定量的な効果把握。	-
	7	医療費通知、ジェネリック医薬品の利用促進	ジェネリック医薬品の数量ベースの切替率80%	全て	男女	0～74	基準該当者	286	【R4実績】 差額通知送付対象者 199名	ジェネリック医薬品に切り替えることにより、窓口負担が500円以上軽減される方に対象者を絞って実施	国の目標である数量ベースで80%まで引き上げ	4
	3	婦人科検診	【目的】子宮がん・乳がんの早期発見・予防 【概要】希望者に対して自己負担は無料で実施	全て	女性	20～74	被保険者	13,112	【R4実績】 <子宮頸部細胞診>365人（43.5%） <HPV検査>127人（15.1%） <乳がん検査>430人（51.3%）	定期健診と同時受診を推奨	・定期健診同時実施事業所の拡大 ・広報による健診必要性の訴求 ・受診しやすい環境整備(女医による検診等)	2
	5	健康教室の開催	健康教室の参加者及び開催事業所数を大幅に増加させ、全体の70%が参加するようにする。	全て	男女	18～74	被保険者、被扶養者	8,767	【R4実績】 19社96拠点、参加者数1,420人（うち新規参加者323人）。	・食事、運動、睡眠、喫煙等、各事業所のニーズに対応したテーマを実施。 ・各事業所の健康づくり推進者との連携 オンラインによる参加し易さ。	・拠点数の多い事業主との連携強化 ・拠点の年齢層、性別、職種などに配慮したテーマ設定 ・被扶養者を対象としたオンライン受講の充実	1

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	8	健診・レセプトデータの活用	【目的】生活習慣病リスク保持者の分布状況などの把握による課題抽出 【概要】保健事業に有効活用できるデータ分析システムの運用	全て	男女	20～74	加入者全員	0	【R4実績】 栗田工業本部安全衛生委員会、クリタグループ安全衛生委員会での説明資料として「健康分布図」などを作成。	・分析データを主要事業主との情報交換に活用 ・特定保健指導の効果検証（委託）	・継続的な分析による経年変化（成果）の見える化 ・全事業主のデータ分析（マンパワー不足）	-

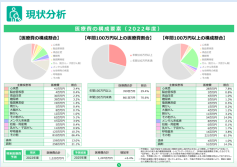
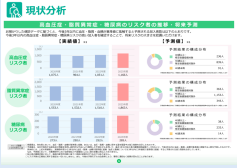
注1） 1．職場環境の整備 2．加入者への意識づけ 3．健康診査 4．保健指導・受診勧奨 5．健康教育 6．健康相談 7．後発医薬品の使用促進 8．その他の事業

注2） 1．39%以下 2．40%以上 3．60%以上 4．80%以上 5．100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
1. 法定 定期健康診断 2. 法定外 生活習慣病検診、がん検診	【目的】従業員に対する安全配慮義務を果たす。 【概要】 ①法定：労働安全衛生法に定める健康診断を実施する。 ②法定外：健保と共同で実施。 （胃X線検査、胃内視鏡検査、便潜血検査、婦人科検診）	被保険者	男女	18～74	【栗田グループ全体】 1. 法定実施率 100% 2. 法定外実施率(R4年度) ・便潜血検査 81.4% ・胃 X 線検査 41.5% ・胃内視鏡検査 30.0% ・婦人科検診（乳がん）51.3% ・ // （子宮頸がん）43.5%	産業保健スタッフおよび事業所健康管理スタッフとの協働による受診までの勧奨を行っている。	・二次健診の受診率が低調な事業所がある。 ・二次健診のフォローが不十分な事業所がある。	有
ストレスチェック	【目的】従業員自らがこころの状態の変化に気づき行動する。 【概要】 年2回全従業員へのストレスチェック実施	被保険者	男女	18～74	【最大の事業主】 全社員がストレスチェックを実施。 【グループ会社】 事業所により実施状況が異なっている。	・事業所健康管理スタッフによる実施徹底。 ・組織分析結果を、職場毎の運営改善に情報提供。	・50人以上の労働者を抱える事業所は労働法に基づきストレスチェックを実施している。 ・ストレス強度の強い組織・業務がある。 ・従来から、メンタル不調者への対応・フォロー体制は、事業主によりマチマチである。	無
運動支援 健診・検診受診支援	【目的】従業員の健康保持増進および疾病の早期発見。 【概要】 ①歩数またはスポーツを一定条件以上実施した場合に補助金を支給する。 ②一定の検診・予防接種を受診した場合に補助金を支給する。	被保険者 被扶養者	男女	18～74	【最大の事業主】 1. 健康増進策 ①クリタすこやかウォーク ②ウォークラリー（支社支店） 2. 健診・検診支援策 ①婦人科検診受診者補助金 ②胃内視鏡検査補助金 ③大腸内視鏡検査補助金 ④インフルエンザワクチン補助金 ⑤風疹予防接種補助金 【グループ会社】 ボーリング大会やウォーキングラリーを定期的に開催している。	・補助金申請により実質自己負担なく検診が受診できる。 ・最大の事業主では、労使折衝の中で、健康増進に重きを置いている。	・健康増進策及び健康支援策への参加者及び利用者を増加させ、組織風土の改善に繋げる必要がある。 ・クリタすこやかウォークは、参加率1割で、参加者も固定。 ・最大の事業主以外の事業主の大半は制度がない。	無
保健指導	【目的】健診結果が有所見となった者への事後措置。（健康保持増進） 【概要】産業保健スタッフによる保健指導実施	被保険者	男女	18～74	【最大の事業主】 定期健診結果から産業医の判断により、面談を実施している。 【グループ会社】 産業医のいない事業所は、健保の嘱託医の判断により、健保の管理栄養士により保健指導を実施。	・事業所産業医・産業保健スタッフが複数の事業所や拠点をカバーしている。 ・事業所や拠点からの要請に応じて、健保組合のスタッフも支援している。	・事業所産業保健スタッフの有無や環境により、保健指導を実施できている事業所と実施できていない事業所に分かれる。 ・毎年指導対象者となる人が多数いる。	有

STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		栗田グループの医療費の構成	医療費・患者数分析	-
イ		高血圧症・脂質異常症・糖尿病のリスク者の推移・将来予測	健康リスク分析	-
ウ		特定保健指導の実施状況	特定保健指導分析	-
エ		主要疾患分析（高血圧・脂質異常症・糖尿病）	医療費・患者数分析	-
オ		主要疾患分析（心疾患・脳血管疾患〔循環器〕）	医療費・患者数分析	-
カ		アウトプット・アウトカム指標①	健康リスク分析	-

アウトプット・アウトカム指標②									
項目	指標	単位	数値	評価	達成状況	達成率	達成状況	達成率	達成状況
健康増進	健康増進	人	100	達成	100%	100%	達成	100%	達成
健康増進	健康増進	人	100	達成	100%	100%	達成	100%	達成
健康増進	健康増進	人	100	達成	100%	100%	達成	100%	達成
健康増進	健康増進	人	100	達成	100%	100%	達成	100%	達成
健康増進	健康増進	人	100	達成	100%	100%	達成	100%	達成
健康増進	健康増進	人	100	達成	100%	100%	達成	100%	達成
健康増進	健康増進	人	100	達成	100%	100%	達成	100%	達成
健康増進	健康増進	人	100	達成	100%	100%	達成	100%	達成
健康増進	健康増進	人	100	達成	100%	100%	達成	100%	達成
健康増進	健康増進	人	100	達成	100%	100%	達成	100%	達成

アウトプット・アウトカム指標②

健康リスク分析

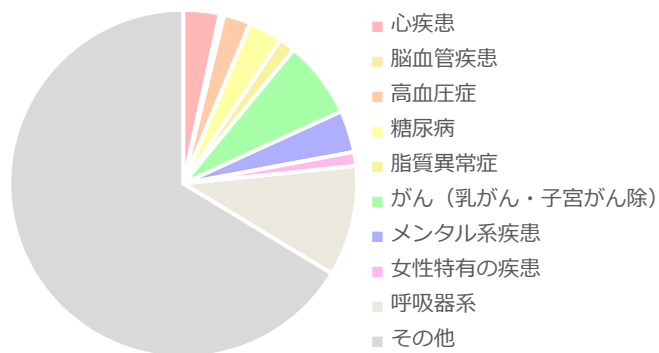
-



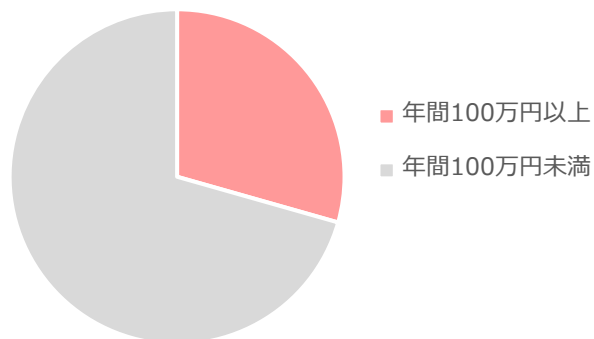
現状分析

医療費の構成要素（2022年度）

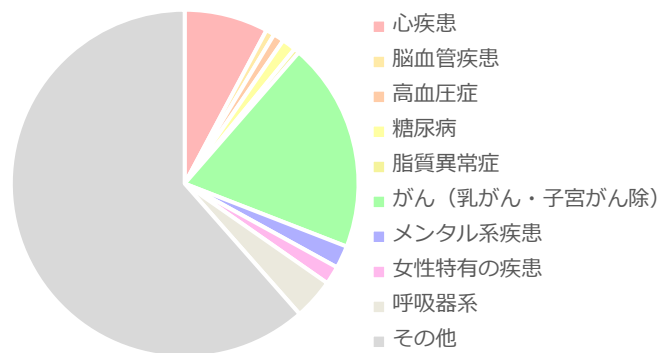
【医療費の構成割合】



【年間100万円以上の医療費割合】



【年間100万円以上の構成割合】



主要疾患等		医療費	割合
心疾患		41百万円	3.4%
脳血管疾患		4百万円	0.4%
高血圧症		30百万円	2.5%
糖尿病		39百万円	3.2%
脂質異常症		19百万円	1.5%
胃がん		5百万円	0.4%
大腸がん		8百万円	0.7%
肺がん		12百万円	1.0%
その他がん		62百万円	5.1%
メンタル系疾患		47百万円	3.9%
妊娠・周産期		5百万円	0.4%
乳がん・子宮がん		11百万円	0.9%
呼吸器系		125百万円	10.3%
その他		810百万円	66.4%
歯科		159百万円	13.0%
調剤		258百万円	21.1%

	医療費合計	割合
年間100万円以上	359百万円	29.4%
年間100万円未満	861百万円	70.6%

主要疾患等		医療費	割合
心疾患		28百万円	7.8%
脳血管疾患		3百万円	0.8%
高血圧症		4百万円	1.0%
糖尿病		5百万円	1.3%
脂質異常症		2百万円	0.5%
胃がん		1百万円	0.2%
大腸がん		4百万円	1.2%
肺がん		11百万円	3.2%
その他がん		54百万円	14.9%
メンタル系疾患		8百万円	2.1%
妊娠・周産期		0百万円	0.1%
乳がん・子宮がん		6百万円	1.7%
呼吸器系		14百万円	3.8%
その他		221百万円	61.5%
歯科		4百万円	1.0%
調剤		51百万円	14.3%

将来医療費予測

現状

医療費合計

2022年度

1,220百万円

予測結果

医療費合計

増加率

2025年度

1,297百万円

+6.4%

○予測値は、当社が保有する匿名加工情報を活用し統計的な手法により開発した予測モデル*を用いて、直近1年分の加入者の健康診断結果・レセプトデータをもとに、3年後の総医療費を予測したものです。
*当予測と、本レポートP.6の各リスクの将来予測の予測手法は異なります。
なお、予測値において、対象期間中における新規加入や退職等による人数の変動は見込んでおりません。
○予測の正確性に関する保証は一切いたしません。また、今後の予測モデルの改良等により、事前に通知なく結果が変わることがあります。



現状分析

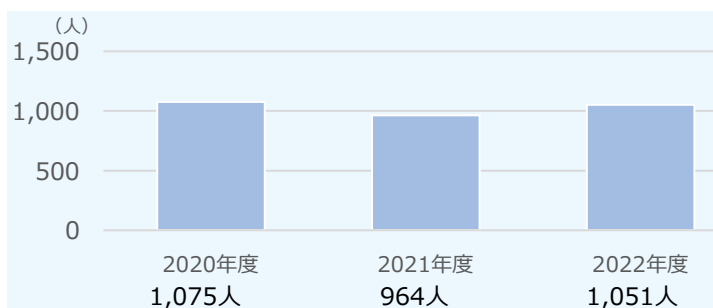
高血圧症・脂質異常症・糖尿病のリスク者の推移・将来予測

お預かりした健診データに基づく、今後3年以内に血圧・脂質・血糖が基準値に抵触すると予測される加入者数は以下のとおりです。
今後3年以内の高血圧症・脂質異常症・糖尿病リスクの高い加入者を確認することで、将来リスクの大きさを把握いただけます。

【実績値】 ※1

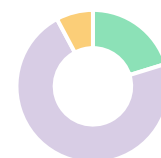
【予測値】 ※1

高血圧症 リスク者



2025年度
1,166人

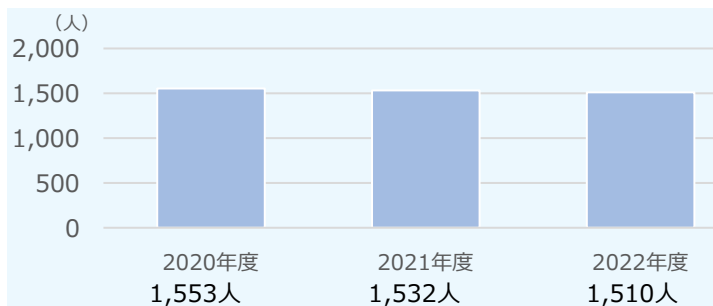
予測結果の構成分布



40歳以上・特定保健指導対象	236人
40歳以上・特定保健指導対象外	839人
40歳未満	91人

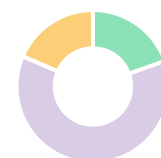
予測結果の構成分布は、「実績値」の最新年度における年齢・特定保健指導基準の該当状況に基づいて判別しています

脂質異常症 リスク者



2025年度
1,863人

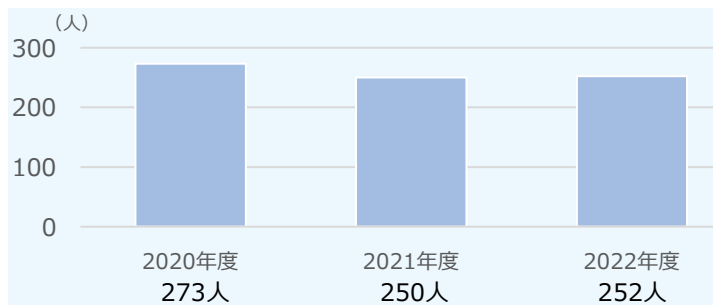
予測結果の構成分布



40歳以上・特定保健指導対象	365人
40歳以上・特定保健指導対象外	1,153人
40歳未満	345人

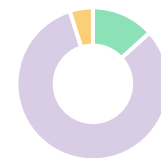
予測結果の構成分布は、「実績値」の最新年度における年齢・特定保健指導基準の該当状況に基づいて判別しています

糖尿病 リスク者



2025年度
285人

予測結果の構成分布



40歳以上・特定保健指導対象	38人
40歳以上・特定保健指導対象外	233人
40歳未満	14人

予測結果の構成分布は、「実績値」の最新年度における年齢・特定保健指導基準の該当状況に基づいて判別しています

※1 ご留意
いただきたい点

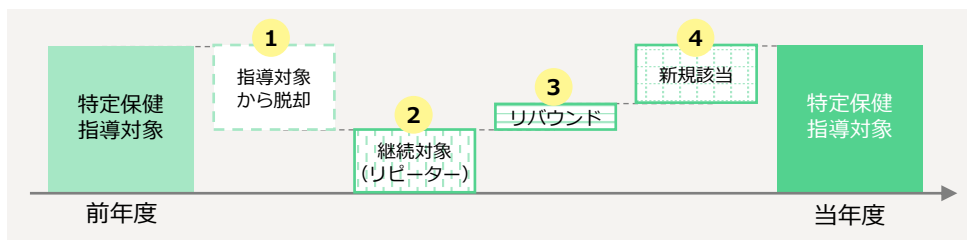
- 実績値は、各年度において、血圧・脂質・血糖が基準値に抵触、あるいは、血圧・脂質・血糖に関する薬を服薬中の加入者数を合計したものです。
- 予測値は、当社が保有する匿名加工情報を活用し統計的な手法により開発した予測モデルを用いて、直近1年分の加入者の健康診断結果データをもとに、今後3年以内に血圧・脂質・血糖が基準値に抵触する人数を予測したものです。具体的には、上記の実績値と、実績値年度から3年以内に血圧・脂質・血糖が基準値に抵触（血圧と脂質については3年以内に2年連続で基準値に抵触）すると予測される加入者数を合計しています。
- なお、予測値において、対象期間中における新規加入や退職等による人数の変動は見込んでおりません。
- 加入者の健康状態に対して、医師の医学的判断に基づく疾病の診断を行うものではありません。
- リスク予測の正確性に関する保証は一切いたしません。また、今後の予測モデルの改良等により、事前に通知なく結果が変わることがあります。



現状分析

特定保健指導の実施状況

＜特定保健指導対象の考え方＞



保険者共通の評価指標

アウトプット指標

アウトカム指標

【特定保健指導実施状況】

	2020年度	2021年度	2022年度
健診受診者数	3,025人	2,944人	3,147人
指導対象者数	628人	595人	596人
対象者割合	20.8%	20.2%	18.9%
実施者数	0人	1人	289人
実施率	0.0%	0.2%	48.5%
実施率 (健保平均)	27.0%	31.1%	-

【1 指導対象からの脱却状況】

	2019年→2020年	2020年→2021年	2021年→2022年
脱却者数	202人	200人	224人
改善脱却	97人	113人	123人
脱却率	48.0%	56.5%	54.9%
服薬治療	48人	43人	58人
その他	57人	44人	43人

【2 継続対象者（リピーター）の状況】

	2019年→2020年	2020年→2021年	2021年→2022年
1年で改善脱却	51人	63人	52人
継続対象者数	393人	428人	371人
2年継続	111人	140人	79人
3年継続	-	64人	81人
4年継続	-	-	46人
5年以上継続	-	-	155人

【3 リバウンド状況】

	2019年→2020年	2020年→2021年	2021年→2022年
リバウンド者数	40人	41人	78人
1年後にリバウンド	40人	32人	62人
2年後にリバウンド	-	9人	14人
3年後にリバウンド	-	-	2人

【4 指導対象への新規該当状況】

	2019年→2020年	2020年→2021年	2021年→2022年
新規該当者数	182人	113人	115人
40歳到達同時	21人	22人	15人
40歳到達済	161人	91人	100人

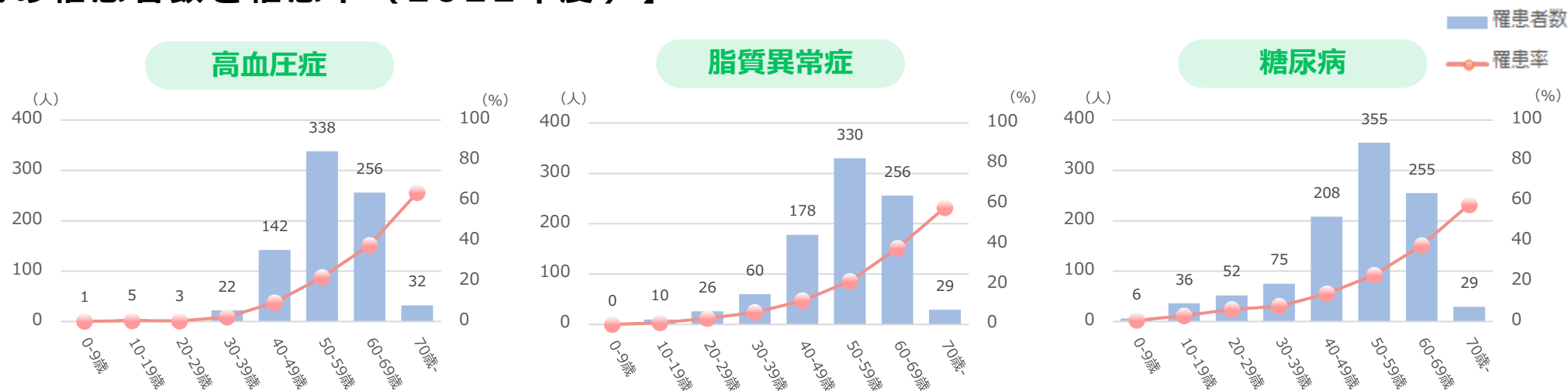
	BMI/腹囲	血圧/脂質/血糖
35-39歳における基準抵触状況	181人	167人



現状分析

主要疾患分析（高血圧・脂質異常症・糖尿病）

【年齢別の罹患者数と罹患率（2022年度）】



【リスク分析】

	2020年度	2021年度	2022年度	健保平均 (2020年度)
リスク高	748人 13.1%	625人 10.9%	663人 11.8%	20.1%
リスク中	620人 10.8%	560人 9.8%	576人 10.2%	17.0%
リスク低	2,837人 49.6%	2,885人 50.3%	3,089人 54.8%	63.0%
健診未受診 ・ 治療歴あり	149人 2.6%	161人 2.8%	121人 2.1%	-

	2020年度	2021年度	2022年度	健保平均 (2020年度)
	1,276人 22.3%	1,244人 21.7%	1,204人 21.4%	34.2%
	1,197人 20.9%	1,159人 20.2%	1,219人 21.6%	29.8%
	1,744人 30.5%	1,666人 29.1%	1,904人 33.8%	36.0%
	166人 2.9%	195人 3.4%	135人 2.4%	-

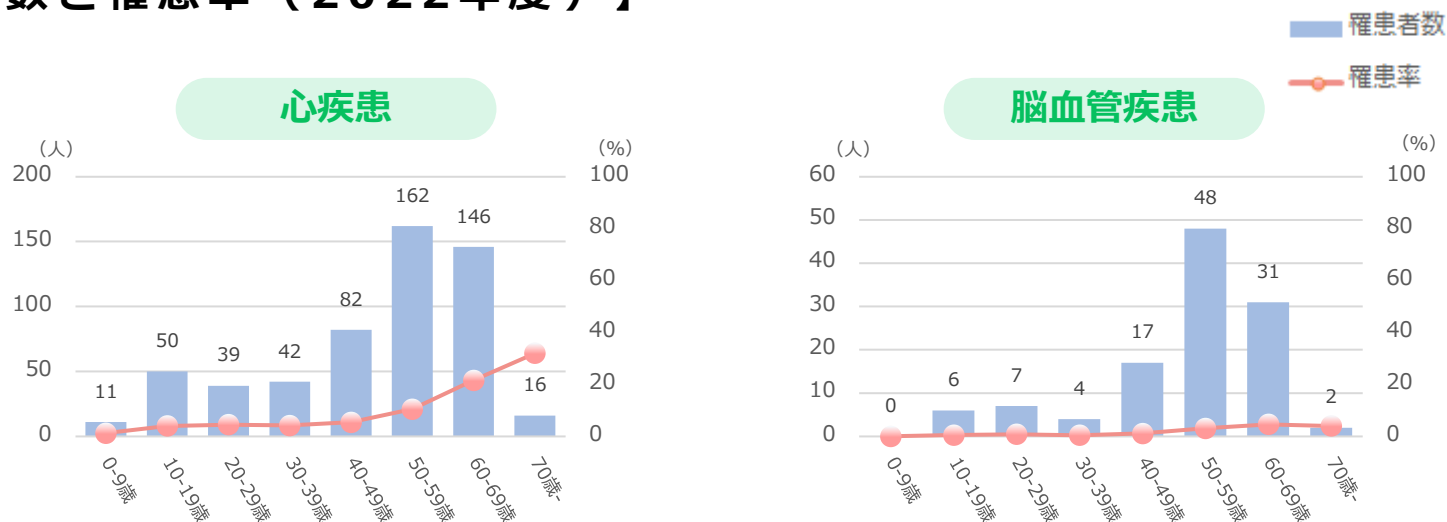
	2020年度	2021年度	2022年度	健保平均 (2020年度)
	180人 3.1%	152人 2.7%	145人 2.6%	5.6%
	810人 14.2%	821人 14.3%	850人 15.1%	27.7%
	3,228人 56.4%	3,096人 54.0%	3,333人 59.1%	66.7%
	201人 3.5%	236人 4.1%	192人 3.4%	-



現状分析

主要疾患分析（心疾患・脳血管疾患〔循環器〕）

【年齢別の罹患者数と罹患率（2022年度）】



【リスク分析】

	2020年度	2021年度	2022年度
高血圧症 のリスク高	748人 13.1%	625人 10.9%	663人 11.8%
脂質異常症 のリスク高	1,276人 22.3%	1,244人 21.7%	1,204人 21.4%
糖尿病 のリスク高	180人 3.1%	152人 2.7%	145人 2.6%
喫煙	914人 16.0%	885人 15.4%	871人 15.5%
上記4項目 全てに該当	14人 0.2%	6人 0.1%	5人 0.1%

「健康日本21（第2次）」（厚生労働省）によると、脳血管疾患と心疾患を含む循環器疾患は、がんと並んで日本人の主要死因の大きな一角を占めており、循環器疾患の予防は基本的には危険因子の管理で、確立した危険因子としては、高血圧・脂質異常症・喫煙・糖尿病の4つ、とあります。

「健康日本21（第2次）」では各因子について目標を定めていますが、ここでは、高血圧症・脂質異常症・糖尿病におけるリスクの状況、及び喫煙の状況について左記表のとおり集計しています。



アウトプット・アウトカム指標①

課題		課題の優先付けの視点						アウトプット指標	アウトカム指標
		過年度の推移			3カ年増加率	未対応者※4	1人あたり医療費※4	目標達成に向けた 具体的な取組	目指すべき目標※5
		2020年度	2021年度	2022年度	緊急度	対応余地	医療財政への影響度		
特定健診	受診者	3,025人 78.9%	2,944人 76.4%	3,147人 83.4%	-	627人 16.6%	186,270円	特定健診の受診勧奨の 実施	特定健診受診率の引き上げ 単一健保：81% 共済組合：81% 総合健保等：76.5%
	医療費	48,427万円 42.3%	57,767万円 45.2%	58,619万円 48.1%		特定健診を 受診していない方			
透析予防治療 の基準該当者 ※1	該当者	182人 3.2%	160人 2.8%	179人 3.2%	-1.6%	35人 19.6%	352,064円	未対応者ゼロへ 糖尿病に関して医療機関 未受診の状態の方をなくす	透析予防治療の基準に 該当する方を削減
	医療費	7,057万円 6.2%	5,615万円 4.4%	6,302万円 5.2%	-10.7%	糖尿病に関して 医療機関を 受診していない方			
受診勧奨 の基準該当者 ※2	該当者	1,785人 31.2%	1,670人 29.1%	1,678人 29.8%	-6.0%	1,053人 62.8%	179,100円	未対応者ゼロへ 高血圧症・脂質異常症・糖尿病 に関して医療機関未受診 の状態の方をなくす	受診勧奨の 基準該当者を 89人削減
	医療費	26,881万円 23.5%	32,446万円 25.4%	30,053万円 24.6%	+11.8%	高血圧症・脂質異常症・ 糖尿病に関して医療機関 を受診していない方			
(40歳未満の 特定保健指導の 判定基準該当者 を含む) ※3	血圧	該当者	348人 6.1%	322人 5.6%	327人 5.8%	-6.0%	223人 53.2%	特定保健指導実施率の 引き上げ 単一健保：30% 共済組合：30% 総合健保等：15% + 特定保健指導の未実施者 やリピーター、 40歳未満の予備群等に 対して個別事業を実施	特定保健指導の 対象者割合の減少 + 40歳未満の 特定保健指導予備群の 減少
		医療費	5,984万円 5.2%	5,337万円 4.2%	6,670万円 5.5%	+11.5%			
	脂質	該当者	576人 10.1%	551人 9.6%	548人 9.7%	-4.9%			
		医療費	10,234万円 8.9%	9,026万円 7.1%	9,434万円 7.7%	-7.8%			
	血糖	該当者	485人 8.5%	468人 8.2%	481人 8.5%	-0.8%			
		医療費	9,530万円 8.3%	10,268万円 8.0%	9,821万円 8.1%	+3.1%			

貴組合における総医療費の3カ年(2020-2022)増加率

+6.5%

全保険者における総医療費の3カ年(2019-2021)増加率

+3.7%

- ※1：診療報酬点数表の基準に基づき、HbA1c6.5%以上又は内服薬やインスリン製剤を使用していること、かつ糖尿病性腎症第2期以上の方を対象に対象者や医療費を算出しており、医師の医学的判断に基づく疾病の診断を行うものではありません。
- ※2：血圧・脂質・血糖のいずれかが「標準的な健診・保健指導プログラム 平成30年度版」(厚生労働省)における受診勧奨基準に該当する方を対象に対象者や医療費を算出しており、医師の医学的判断に基づく疾病の診断を行うものではありません。
- ※3：特定保健指導の対象者の判定には、脂質の評価項目にLDL-C、Non-HDL-Cは含まれませんが、本項目では「標準的な健診・保健指導プログラム 平成30年度版」(厚生労働省)における保健指導基準に基づき、LDL-C、Non-HDL-Cを脂質の評価項目に含みます。40歳以上の特定保健指導対象者の状況については、P.9を参照ください。
- ※4：直近年度の実績から算出しています。
- ※5：「透析予防治療の基準該当者」及び「受診勧奨の基準該当者」のアウトカム目標は、医療費の3カ年増加率が貴組合の総医療費の3カ年増加率を上回る場合、各基準該当者の医療費の増加率を総医療費の増加率と同水準まで抑制するために必要な目標水準を記載しています。



アウトプット・アウトカム指標②

課題		課題の優先付けの視点							アウトプット指標	アウトカム指標
		過年度の推移			3カ年増加率	保健指導 判定基準該当者 ※1・※2	要対応者※2	1人あたり 医療費※2・※3	目標達成に向けた 具体的な取組	目指すべき目標
		2020年度	2021年度	2022年度	緊急度		対応余地	医療財政への 影響度		
飲酒による リスク者	該当者	492人 8.6%	421人 7.3%	475人 8.4%	-3.5%	163人 34.3%	89人 18.7%	241円 肝硬変発症時の 医療費	要対応者に対して 個別事業を実施	要対応者の割合を 男性13%・女性6.4% まで減少
	医療費	6,113万円 5.3%	7,532万円 5.9%	7,031万円 5.8%	+15.0%					
喫煙による リスク者	該当者	914人 16.0%	885人 15.4%	871人 15.5%	-4.7%	307人 35.2%	871人 15.5%	360円 肺がん発症時の 医療費	喫煙者に対して 個別事業を実施	喫煙者の割合を 12%まで減少
	医療費	11,865万円 10.4%	11,533万円 9.0%	11,626万円 9.5%	-2.0%					
非肥満の 生活習慣病 リスク者	該当者	184人 3.2%	195人 3.4%	194人 3.4%	+5.4%	-	15人 7.7%	8,025円 糖尿病発症時の 医療費	要対応者に対して 個別事業を実施	該当者の割合を 減少
	医療費	2,374万円 2.1%	3,873万円 3.0%	4,601万円 3.8%	+93.8%					

※1：「標準的な健診・保健指導プログラム 平成30年度版」(厚生労働省)における保健指導（血圧・脂質・血糖）の基準のいずれかに該当する方の割合です。

※2：直近年度の実績から算出しています。

※3：1人あたり医療費は、各リスク者の基準に該当する方のうち、表中に記載の疾患を発症している方の1人あたり医療費を算出しています。